静岡市洪水・土砂災害ハザードマップ

安倍川・藁科川

本マップ対象範囲

葵　区

服織・服織西・南藁科・中藁科地区

「静岡市洪水・土砂災害ハザードマップ」は、安倍川・藁科川が大雨によって増水し、堤防が決壊した場合に被害が想定される浸水箇所や避難所などの位置を地図に示したものです。

大雨の時には、雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら、早めに自主的な避難を心がけましょう。

このハザードマップを参考に自宅や通学先・通勤先などにおいて想定される災害状況を認識し、避難経路や避難場所等を確認してください。また、家庭や学校、事業所、地域における防災・減災活動にご活用ください。

他のハザードマップについて

静岡市では、このハザードマップの他にも、各河川ごとに『洪水ひなん地図』を、各地域ごとに『浸水ひなん地図』を作成しています。このほかにも『静岡市防災マップ』や『津波避難マップ』を作成しています。

●洪水ひなん地図

「洪水ひなん地図」は、想定河川とその流域に発生する洪水による浸水被害想定を地図上に示したものです。

●浸水ひなん地図

「浸水ひなん地図」は、想定河川とその流域に発生する内水による浸水被害想定を地図上に示したものです。

静岡市防災情報マップ

静岡市防災情報マップは、地図や画像を利用して、災害想定に関する情報をインターネットにより、わかりやすく公開するサイトです。

静岡市 平成29年3月

市からの避難の呼びかけ

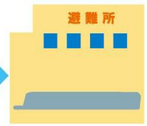
災害時には市からの避難の呼びかけ（避難勧告等）に注意し、早めの避難を心がけてください。あなたの判断が家族の命を守る第一歩です。

避難準備・高齢者等避難開始

避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児をお連れの方等）は避難を開始しましょう。

いつでも避難ができる準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。

ご高齢の方、障害のある方の避難開始の合図です。



避難勧告

避難場所へ避難をしましょう。

地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。

一般の方も避難開始の合図です。

避難指示（緊急）

まだ避難していない場合は、**直ちに**その場から避難をしましょう。

外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

逃げ遅れのないように急いで避難してください。

※必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。
また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

早期の立退き避難が必要な区域及び浸水ランク別の避難行動

			避　難　行　動
早期の立退き避難が必要な区域	家屋倒壊等氾濫想定区域	洪水氾濫	木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫流が発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
		河岸侵食	家屋が倒壊するような河岸侵食の発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
	家屋が水没するおそれのある区域		最上階も浸水するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
その他の浸水想定区域			床上浸水または床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましいが浸水時に想定される状況を踏まえ、自らの判断により屋内安全確保でも良い。

避難する時の注意

避難するときは、隣近所で声を掛け合い、なるべく複数人で避難するようにしてください。危険な箇所は避けて、遠回りでも安全な道を歩いて下さい。

安全な避難経路の確認

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

動きやすい格好、複数での避難

動きやすい服装で避難しましょう。なるべく家族や隣近所とともに集団で避難しましょう。

流れのある場所は近づかない

ゆっくりと歩く程の速さでも、ひざまで来ると歩けないので近づかない。

浸水している場所は注意が必要

浸水している場合は側溝などに転落する恐れがあり危険です。
手をつないで長い棒などで確認しながら進みましょう。

浸水前（浸水のおそれがあるとき）

水平避難は浸水が始まる前に先づしておくことが大切です。
テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意し、危険を感じたら早めの避難をしましょう。

浸水時(危険が差し迫ったとき)

見とおしの悪い夜間や浸水の深さがひざ付近に達し、流れが速く、逃げ遅れたときは、無理をせず、自宅の2階や近くの頑丈な高い建物に逃げましょう。

地下施設の浸水はとても危険です。

アンダーパス・地下道の危険性

道路が冠水している状況を発見した場合には、**不用意に通行せず、迂回するなどの危険回避**を最優先で行ってください。

地下空間では避難が困難になります

30～50cm程度の浸水で、**水圧により扉の開閉ができなくなります。**
また、地下にある電気設備などが浸水した場合には、**停電が発生します。**

気象に関する情報

■雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	10mm以上20mm未満	20mm以上30mm未満	30mm以上50mm未満	50mm以上80mm未満	80mm以上
				大雨洪水注意報	大雨洪水警報
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

出典：「雨の強さと降り方（気象庁）」（平成12年8月作成）、（平成14年1月一部改正）を参照

■土砂災害警戒情報

大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が非常に高まったときに、市町村長が避難勧告等の災害応急対応を適時適切に行えるよう、また、住民の自主避難の判断の参考となるよう、対象となる市町村を特定して都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

安倍川・藁科川の避難判断（水位危険度レベル）

安全な場所への避難及びその準備を行う目安となる「避難判断水位」に達したときに、避難判断水位到達情報が発表されます。

■基準水位観測所

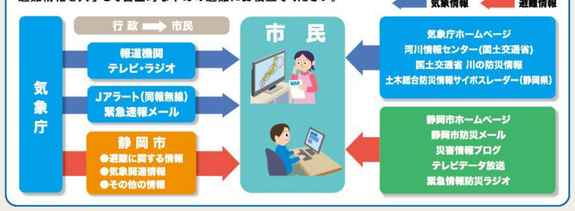
河川名	観測所名	レベル1（水防団待機水位）	レベル2（氾濫注意水位）	レベル3（避難判断水位）	レベル4（氾濫危険水位）	レベル5（氾濫の発生）
安倍川	牛妻	2.20m	3.00m	4.10m	4.60m	―
	手越	1.50m	2.40m	3.40m	4.00m	―
藁科川	富沢橋	2.80m	4.00m	―	―	―
	奈良間	2.30m	3.70m	6.40m	7.70m	―

■伝達方法

情報の入手先

災害発生の危険性が高まっている時または災害発生時には、市役所や消防、警察、メディアなどから流れる正しい情報を入手し、デマに惑わされないようにしましょう。

災害情報は気象情報をもとに静岡市が避難の呼びかけをしますが、市民のみなさまも積極的に気象、避難情報を入手して自主的な早めの避難にお役立てください。



緊急速報メール

緊急速報メールは株式会社NTTドコモ・KDDI・ソフトバンク各社の携帯電話向け災害情報伝達手段で、静岡市内の携帯電話基地局エリアの範囲内に滞在する、緊急速報メール受信機能を持つ携帯電話に情報を配信するシステムです。（NTTドコモでは「エリアメール」と称します。）

静岡市防災メール

事前に登録していただいたメールアドレスに、静岡市から地震や気象関連情報、大雨に伴う道路の通行止め情報等をお知らせするメール配信サービスです。

●静岡市防災メールへの登録方法

①下記の登録用アドレスに空メールを送る。（右のQRコードも利用できます。）
②送信後、届いたメールにあるURLをクリックし、必要な項目を登録して完了。

ＰＣ　http://www.city.shizuoka.jp/000_001526.html
携帯　siz-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.com

災害情報ブログ

静岡市の災害情報を「Yahoo!ブログ」で随時更新しています。
詳しくは、下記「静岡市の災害情報（Yahoo!ブログ）」をご覧ください。

●静岡市の災害情報-Yahoo!ブログ
（http://blogs.yahoo.co.jp/shizuoka_city_koho/）

静岡市

●静岡市 災害緊急情報（http://www.city.shizuoka.jp/）
●静岡市道路通行規制情報「しずみちinfo(インフォ)」（http://www.city.shizuoka.jp/000_005288.html）

国・県機関等

●静岡県 緊急・危機管理情報/県内気象情報（http://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/index.html）
●静岡県 土木総合防災情報サイボスレーダー（http://sipos.shizuoka2.jp/）
　携帯電話からのアクセス（http://sipos.shizuoka2.jp/m/）
●気象庁 防災気象情報（http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html）
●静岡地方気象台（http://www.jma-net.go.jp/shizuoka/）
●国土交通省 川の防災情報（http://www.river.go.jp/）
●国土交通省 防災情報提供センター（http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/）
●中部電力停電情報（電気）（http://teiden.chuden.jp/p/index.html）

お問い合わせ先　静岡市役所　総務局　危機管理総室　電話：054-221-1241

防災訓練の必要性

万が一の事態に遭遇しても落ち着いて適切な応急活動ができるよう、日ごろから繰り返し十分な訓練を積んでおくことが必要です。

防災倉庫・危険箇所の把握

●防災倉庫などの資機材を備蓄する場所を定めておきましょう。
●地域で点検する日を定め、年１回は資機材の点検をしましょう。
●ハザードマップを活用して実際に歩いてみて危険箇所等を確認しましょう。
●地域の避難場所の確認、指定避難所の確認をしましょう。

日頃からの備え

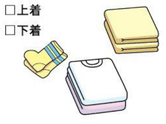
避難する時に、まず最初に持ち出すものです。家族構成を考えて必要数を用意し、両手が使えるようリュックサックなどに入れ、すぐに持ち出せる場所に保管しましょう。

■非常持出品

防災用品
□携帯ラジオ(予備の電池)
□ヘルメット・帽子など
□軍手

燃料・照明
□懐中電灯
（予備の電池・電球）
□マッチ・ライター

衣料品
□タオル(大小2種類)
□上着
□下着



貴重品
□現金
□印鑑
□預貯金通帳
□健康保険証の写し

食料品
□飲料水
□非常食
（乾パン・缶詰など）
□ナイフ・缶切り・栓抜き

医療用品
□持病薬
□常備薬
□救急セット
□お薬手帳

便利用品
□使い捨てカイロ
□ウェットティッシュ

お近くの雨水ますや側溝の点検・清掃を

雨水ますや側溝に泥や落ち葉、ゴミが詰まると、浸水の原因になります。家の近くの雨水ますや側溝の点検・清掃にご協力をお願いします。

過去の災害

七夕豪雨による被害

昭和49年台風第8号は、日本本土へは上陸せず対馬海峡を通過し、日本海を北東へ進みました。このとき東海地方西部に停滞していた梅雨前線が刺激され、静岡市周辺では7月7日の午前11時前から雨が降り始め、午後9時までには22mmと特に強い雨ではありませんでした。ところが、9時すぎになって突然バケツをひっくりかえしたようなものすごい雨になり、7月8日午前4時まで連続した豪雨となりました。この間の最大の1時間降水量は84.5mmです。その後、雨の勢いは弱まり、やっと降りやんだ8日の8時までの半日間で、508mmという記録的な大雨となりました。これは24時間雨量では静岡地方気象台過去最大の豪雨となりました。

出典：「大谷川放水路建設のあゆみ」を参照し、一部加筆

巴川流域浸水実績図（昭和49年7月7日～8日洪水）

土砂災害に関する情報

■土砂災害警戒区域等について

土砂災害警戒区域

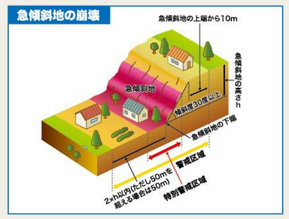
土石流等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の準備が行われます。

土砂災害特別警戒区域

土石流等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制や、建築物の構造規制等が行われます。

土石流

急傾斜地の崩壊

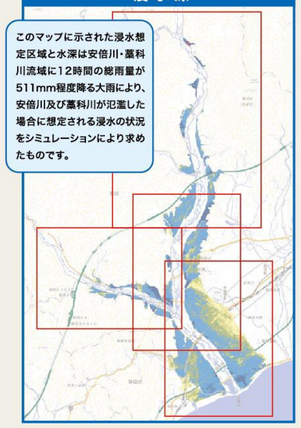


もし、安倍川・藁科川が氾濫したら

安倍川・藁科川が氾濫した時の浸水の深さを示す浸水深と、浸水がどれほど続くかを示す浸水継続時間を表しています。

浸水深

このマップに示された浸水想定区域と水深は安倍川・藁科川流域に12時間の総雨量が511mm程度降る大雨により、安倍川及び藁科川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。



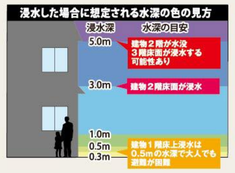
凡　例
最大浸水深(想定最大)
- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 1.0m以上3.0m未満
- 0.5m以上1.0m未満
- 0.3m以上0.5m未満
- 0.3m未満

浸水継続時間

安倍川・藁科川が氾濫した場合の浸水継続時間をみると、比較的浸水継続時間の短い地域が多い傾向にあります。しかしながら半日以上浸水が継続する地域もありますので、早めの避難行動を心がけ、日頃から食料・飲料水等を備蓄しておきましょう。

凡　例
浸水継続時間
- 1日以上２日未満
- 半日以上１日未満
- ６時間以上12時間（半日）未満
- ６時間未満

浸水した場合に想定される水深の色の見方



安倍川・藁科川の浸水想定区域図について

（1）静岡市洪水・土砂災害ハザードマップに示されている浸水想定区域は、安倍川水系安倍川及び藁科川の［洪水予報／水位周知］区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域図は、指定時点の安倍川及び藁科川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により安倍川及び藁科川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。